



## 2022.4～ 保険診療 料金表

### 一般不妊治療・人工授精

項目	点数(点)	患者様(3割)負担(円)	内容	備考
一般不妊治療管理料	250	750円	一般不妊治療を実施したとき 治療計画書の作成	・3ヶ月に1回算定 ・6ヶ月に1回以上治療内容等に係る同意確認
人工授精	1820	5,460円	子宮内に精子を注入したとき	いずれかに該当する場合 ・精子・精液の量的・質的異常 ・射精障害・性交障害 ・精子一頭管粘液不適合 ・機能性不妊

### ART

項目	点数(点)	患者様(3割)負担(円)	内容	備考
生殖補助医療管理料 生殖補助管理料	250	750円	生殖補助医療を実施したとき 治療計画書の作成	・1ヶ月に1回算定 ・女性の年齢が43歳未満である場合に限り ・6ヶ月に1回以上治療内容等に関する同意確認

### AMH

項目	点数(点)	患者様(3割)負担(円)	内容	備考
抗ミュラー管ホルモン(AMH)	600	1,800円	内分泌学的検査(採血) 卵巣の予備能力の目安となる	・調節卵巣刺激法における治療方針の決定を目的として実施した場合 ・6ヶ月に1回算定

### 採卵

項目	点数(点)	患者様(3割)負担(円)	内容	備考
採卵術	3200	9,600円	卵巣から卵子を採取する手術	いずれかに該当する場合 ・卵管性不妊 ・男性不妊(閉塞性無精子症等) ・人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合 ・機能性不妊
採卵術	1個	2400	卵巣から卵子を採取する手術	採卵術3200点(9,600円)に採取された卵子の数に応じて上記に加算
	2-5個	3600		
	6-9個	5500		
	10個以上	7200		

### 受精(体外受精・顕微授精管理料)

項目	点数(点)	患者様(3割)負担(円)	内容	備考
体外受精	4200	12,600円		
顕微授精	1個	4800	体外受精(卵子に精子をふりかける)または顕微授精(顕微鏡下で卵子に直接1個の精子を注入)を実施したとき	いずれかに該当する場合 ・卵管性不妊 ・男性不妊(閉塞性無精子症等) ・人工授精等の一般不妊治療が無効であった場合 体外受精のみ場合は体外受精のみ、顕微授精のみ場合は顕微授精のみ 体外受精と顕微授精を同時に行った場合は4200点の100分の50に相当する点数と顕微授精の点数を合算。 2100点(6,300円)+顕微授精の点数
	2-5個	6800		
	6-9個	10000		
	10個以上	12800		
採取精子調整加算	5000	15,000円	精巣内精子採取術(TESE)・経皮的精巣上体精子吸引術(PESA)により採取した精子を用いるとき	初回のみ
卵子調整加算	1000	3,000円	卵子活性化処理を実施したとき 受精卵作成の成功率を向上させる	

### 培養(受精卵・胚培養管理料)

項目	点数(点)	患者様(3割)負担(円)	内容	備考
受精卵管理料	1個	4500	受精卵から初期胚を作成したとき	体外受精または顕微授精により作成された受精卵から、初期胚または胚盤胞作成を目的として受精卵および胚の培養を行った場合、受精卵および胚の数に応じて算定
	2-5個	6000		
	6-9個	8400		
	10個以上	10500		
胚盤胞管理料	1個	1500	受精卵から胚盤胞を作成したとき	作成された初期胚のうち、胚盤胞の作成を目的として管理を実施したものの数に応じて算定
	2-5個	2000		
	6-9個	2500		
	10個以上	3000		

### 胚凍結(胚凍結保存管理料)

項目	点数(点)	患者様(3割)負担(円)	内容	備考
胚凍結 保存管理料 (導入時)	1個	5000	初期胚または胚盤胞の凍結保存を開始したとき	凍結する初期胚または胚盤胞の数に応じて算定
	2-5個	7000		
	6-9個	10200		
	10個以上	13000		
胚凍結 保存維持管理料	3500	10,500円	凍結胚の保存に係る維持管理	胚の凍結から1年を経過している場合、当該凍結保存開始日から起算して3年を限度として1年に1回限り算定。妊娠等により不妊症に係る治療が中断されている場合であって、患者及びそのパートナーの希望により凍結保存を継続する場合には、その費用は患者の負担とする。

### 胚移植

項目	点数(点)	患者様(3割)負担(円)	内容	備考
新鮮胚移植	7500	22,500円	新鮮胚を用いた移植を実施したとき	患者の治療開始日※の年齢が40歳未満である場合6回/40歳以上43歳未満3回に限り算定。 ただし、次の児の妊娠を目的として胚移植を実施した場合、その治療開始日の年齢が40歳未満ならさらに6回、40歳以上43歳未満ならさらに3回
凍結・融解胚移植	12000	36,000円	凍結胚を融解して行う移植を実施したとき	※治療開始日の年齢とは、当該胚移植に係る治療計画を作成した日における年齢。ただし、算定回数の上限に係る治療開始日の年齢は、当該患者及びそのパートナーについて初めての胚移植に係る治療計画を作成した日における年齢により定める。
アシテッドハッチング	1000	3,000円	孵化(受精卵が殻から出ること)を助ける処置を実施したとき	
高濃度ヒアルロン酸含有培養液	1000	3,000円	移植専用の培養液を使用して移植したとき	

### 男性不妊

項目	点数(点)	患者様(3割)負担(円)	内容	備考
Y染色体微小欠失検査	3770	11,310円	精巣内精子採取術の適応を判断する検査	
精巣内精子採取術(TESE) 経皮的精巣上体精子採取術(PESA)	12400	37,200円	顕微授精に用いるための精子を採取したとき	いずれかに該当する場合 ・閉塞性無精子症 ・非閉塞性無精子症 ・射精障害で他の方法での精子採取が難しいと判断した場合

先進医療 ※未だ保険診療として認められていない先進的な医療技術等について、安全性・有効性等を確保するための施設基準等を設定し、保険診療と保険外診療との併用を認め、将来的な保険導入に向けた評価を行う制度

[2023.4.27更新]

項目	点数(点)	自費	内容	備考
子宮内膜受容能検査(ERA)	-	130,000円	子宮内膜を採取し、次世代シーケンサーを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるかを評価する検査	自費診療となります。
子宮内細菌叢検査(EMMA/ALICE)	-	75,000円	子宮内の細菌叢が正常か異常か、またその菌の種類を判断する検査	自費診療となります。
子宮内フローラ検査	-	50,000円	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類を判断する検査	自費診療となります。
子宮内膜刺激術(SEET法)	-	30,000円	胚培養液を胚移植数日前に子宮に注入し、受精卵の着床に適した環境を作り出す技術	自費診療となります。
IMSI	-	10,000円	通常の顕微授精(ICS)より倍率の高い強拡大顕微鏡を用いて精子頭部を観察し、空胞がない(空胞が小さいなど)良好な精子の選択を行う技術	自費診療となります。



## 2022.4～ 自費診療 料金表

### 人工授精

項目	自費(税込)	内容	備考
人工授精	22,000円	子宮内に精子を注入したとき	

### ART

#### 採卵

項目	自費(税込)	内容	備考
採卵術	132,000円	卵巣から卵子を採取する手術	採卵回数に関わらず一律料金
	35,200円	採卵を試みたが卵子を採取できなかったとき	

#### 受精

項目	自費(税込)	内容	備考
体外受精(ふりかけ)のみ	46,200円	卵子に精子をふりかける方法で体外受精を実施したとき	
体外受精と顕微授精	23,100円	体外受精と顕微授精を同時に行ったとき	顕微授精の回数に応じて顕微授精料金が加算されます。 例) 1度の採卵で3つ卵子が採れ、1つを体外受精、2つを顕微授精した場合の料金は23,100円+66,000円=89,100円
顕微授精	1-5個	66,000円	顕微鏡下で卵子に直接1個の精子を注入する方法を用いたとき
	6個以上	110,000円	
採取精子調整加算	55,000円	精巣内精子採取術(TESE)・経皮的精巣上体精子吸引術(PESA)により採取した精子を用いるとき	凍結精子を使用するたびに発生
卵子調整加算	11,000円	卵子活性化処理を実施したとき	

#### 培養

項目	自費(税込)	内容	備考
受精卵・胚培養	110,000円	受精卵から初期胚を作成したとき	回数に関わらず一律料金
胚盤胞培養	55,000円	受精卵から胚盤胞を作成したとき	回数に関わらず一律料金

#### 胚凍結

項目	自費(税込)	内容	備考
胚凍結(凍結時)	66,000円	初期胚または胚盤胞の凍結保存を開始したとき	採卵日ごとに発生。回数に関わらず一律料金
再凍結処理料	27,500円	凍結胚を融解した後再度凍結するとき	回数に関わらず一律料金
胚凍結保存維持管理料	38,500円	凍結保存開始から1年経過後、保存延長するとき	採卵日ごとに発生

#### 胚移植

項目	自費(税込)	内容	備考
新鮮胚移植	82,500円	新鮮胚を用いた移植を実施したとき	
融解胚移植	132,000円	凍結胚を融解して移植を実施したとき	凍結胚融解代込み
融解	22,000円	追加融解が発生したときやPGT-Aを実施したとき	1個につき
アシステッドハッチング	33,000円	孵化(受精卵が殻から出ること)を助ける処置を実施したとき	1個につき
高濃度ヒアルロン酸含有培養液	16,500円	移植専用の培養液を使用して移植したとき	

#### 男性不妊

項目	自費(税込)	内容	備考
精巣内精子採取術(TESE)	165,000円	顕微授精に用いるための精子を採取したとき	
経皮的精巣上体精子吸引術(PESA)	77,000円		
凍結処理料(1~3本)	33,000円	精子の凍結保存を開始するとき(3本までの料金含まれる)	凍結日ごとに発生。3本まで一律33,000円の料金
凍結処理追加加算料(4本以降3本ごと)	16,500円	4本以上の場合、3本ごとに上記処理料に追加加算	例)6本の場合:33,000円(凍結処理料)+16,500円(追加加算料)=49,500円
再凍結処理料(3本ごと)	16,500円	精子を融解した後再度凍結するとき	例)6本の場合:16,500円(1~3本分)+16,500円(4~6本分)=33,000円
保存維持管理料	22,000円	凍結保存開始から1年経過後、保存延長するとき	凍結日ごとに費用が発生
精液検査	3,300円		

#### 先進医療

[2023.2.1より改定]

項目	自費(税込)	内容	備考
子宮内膜受容能検査(ERA)	143,000円	子宮内膜を採取し、次世代シーケンサーを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるかを評価する検査	
子宮内細菌叢検査(EMMA/ALICE)	82,500円	子宮内の細菌叢が正常か異常か、またその菌の種類組成を判断する検査	
子宮内フローラ検査	55,000円		
TRIO(ERA/EMMA/ALICE)	181,500円		ERA/EMMA/ALICEを同時に検査した場合
IMSI	11,000円	通常の顕微授精(ICS)より倍率の高い強拡大顕微鏡を用いて精子頭部を観察し、空胞がない(空胞が小さいなど)良好な精子の選択を行う技術	回数にかかわらず一回につき

#### その他

項目	自費(税込)	内容	備考
初診料	3,300円	初めて受診または前回受診日から6ヵ月以上経過のとき	
再診料	1,100円		
夜間・早朝加算	550円	平日:18時以降,土曜:12時以降,日曜・祝日:終日に受付したとき	
超音波検査	3,300円		1回につき
ホルモン検査	3,300円		1項目ごと
子宮卵管造影(フェムビュー)	33,000円		
子宮内膜刺激術(SEET法II)	22,000円	胚盤胞を移植する2~3日前に高ヒアルロン酸含有培養液を子宮内に注入し、受精卵の着床に適した環境を作り出す技術	
PFC-FD	154,000円~198,000円	患者様自身の血液からPRP(多血小板血漿)を作製したのち、さらに濃縮させた成長因子を子宮内もしくは卵巣内に直接注入する方法	